

学校長通信 No.9

Back to the Basic with our strong points

先日、大阪府教育委員会の中原教育長が日根野高校に視察に来られました。ちょうどお昼時に到着されたのですが、生徒達と話をしながら昼食を取りたいとのことでしたので、本校の食堂にご案内いたしました。食堂はいつものように生徒達でワイワイと賑やかでしたが、ほとんどの生徒は中原教育長とは気付かずに（教育長という意味もよくわかっていないかもしれませんが・・・）おりましたので、私が「この人、誰かわかる？」と水を向けますと、「わ～っ」とびっくりしておりました。ただ、そこは素直で素朴な日根高ガールズ。あっという間に打ち解けて、記念写真（？）をせがむなど、余裕の様子でした。

午後からは、まず、英語・数学・情報・社会・家庭など合計 8 クラスの授業を見学されました。先生方には教育長の来校と 5 ～ 6 限の授業見学のご予定はお知らせしておりましたが、教育長ご自身がどの授業を見たいという希望を特に言われておりませんでしたので、ランダムにふらっと入室する、という形が進み、先生方には大変申し訳なく思っております。もっとも、教育長がお見えになられるからといって、日根野高校として特別な授業準備をしたわけではありませんし、多分、周到に考え抜かれた授業を見学される機会が多くていらっしゃると思いましたが、逆に、ありのままの日根野高校を見てもらうということで、かえって良かったのではないかなと思っています。ご感想は「生徒達が楽しそうに参加できている授業が多かったですね。」ということで、アクティブ・ラーニングを実践する日根野高校としては、この上ないお言葉だったと思います。

授業見学後、校長室で学校状況のご報告や意見交換をさせていただいたのですが、来年度から実施します本校の「専門コース」の運用計画のところでは話が大きい盛り上がり、私も熱く語らせていただいたのですが教育長も熱く語られ、気がつけば予定を 1 時間近くも過ぎるという状態。新しく生まれ変わる日根野高校の門出に大きなエールをいただくことができました。これはある意味たいへんなこと。私たちが普通科専門コース設置校として描いてきたストーリーを評価していただけたわけですから、今後、益々自信を持って取り組んでいけると思います。もっとも、日根野高校の先生方は、私などよりずっと冷静で、また厳しく現実を見据えておられます。誰がどうこう言うからどうということなく、着々と前進していけます。Back to the Basic 常に基本に帰りつつ日根野高校は変わります。